

風光明媚なりアス式海岸。
美しい人工砂浜の海水浴場。
詩情豊かな観光うたせ船。
湯の児、湯の鶴、湯浦、吉尾に代表される温泉源など、
水俣・芦北地域は豊かな観光資源に恵まれています。
また、日本一の甘夏の里としても知られ、
このような特性を活かした地域づくりが今、槌音を
響かせています。さらに、『チビッコ大学』や『住みたくなる町づくりフォーラム』など
人づくりの面でもユニークなとりくみがなされています。
進行中です。特色ある水俣・芦北地方の日本一づくり。



市民の手づくりイベント
「コスモス祭り」で地域おこしを！

■花と緑のまちづくり水俣市
水俣の夏の風物詩に競り舟大会が
あります。水俣の競り舟は、明治三
十年ごろ長崎から伝わったといわれ
ていますが、詳しい記録は残ってい
ません。
一時期中止されたこともありまし
たが、昭和五十一年、明るい水俣づ
くりとして催された「水俣青年祭」
に青年たちの熱意で復活しました。

今では全国的にも名が通り、昨年は
国際的な台湾大会に参加しました。
今、水俣は活力にあふれ
ています。これを支える市
民の熱意と行動力が、中尾山山上に
八万本のコスモスの花を咲かせまし
た。秋の「コスモス祭り」は、市民
の努力で実現したといえます。
昭和五十九年度に国土庁がすすめ
ている「花と緑の都市モデル地区整
備事業」の対象地域に指定され、水
俣は、今、新しいまちづくりに燃え
ています。

豊かな資源を活かし、

多彩なイベントで時代を先取りする

水俣・芦北地方の日本一づくり

全国各地に

④のブランドを
指定を受けた秋ノ越一帯
を活か
した新

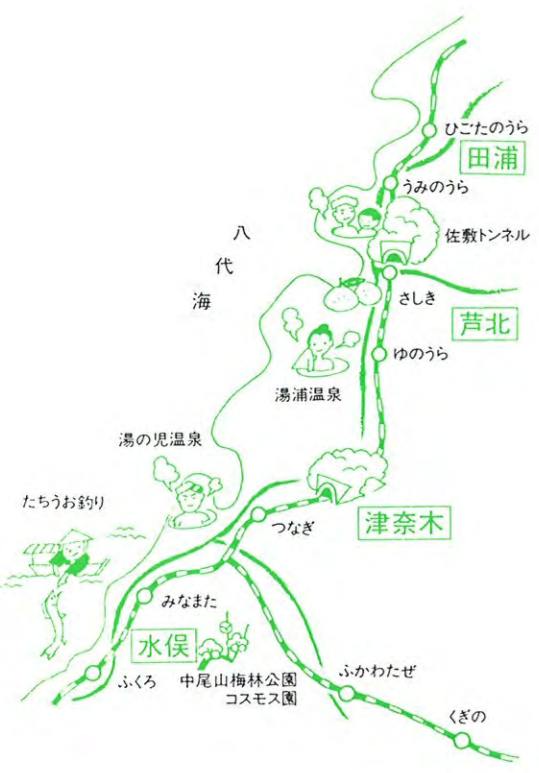
■甘夏みかんを中心に地域づくり
田浦町・水俣芦北広域市町村
圏協議会
しい観光開発や豊富な水産・森林資
源の活用など、トータルとしての地
域づくりが行われています。
特に、若者が定住する町づくりを
めざしています。
昭和五十二年に、少年教育の一環
として開講された『チビッコ大学』
もその一つです。将来は、地域づく



過疎の町に芸術の香り

■緑と彫刻のあるまちづくり
津奈木町
昨年十一月、町の中心を流れる津
奈木川の河口に、『あけぼの橋』が竣
工し、その欄干中央に、ブロンズの
裸婦像が設けられました。『爽風』と
命名されたこの像は、不知火海から
吹き上げる潮風に乗って舞う女性の
姿をデザインしたものです。

津奈木町
は、今、文化的な環境
のもとで、人々の心に潤
いをもたらしてくれる、『緑と
彫刻のあるまちづくり』を進めて
います。昭和五十九年に制定した美
術品取得基金条例で、その年には、さ
つそく新築移転した役場庁舎に彫刻
等が設けられるなど、この運動は、着
実な歩みを見せています。
また、人々の意識の高揚をねらっ
て開かれた『住みたくなる町づくり
フォーラム』には、多数の町民が参
加するなど、活気のある積極的なま
ちづくりがすすめられています。



今、新しい可能性を求めて

■海と地底探訪のまちづくり
芦北町



国民年金保養センターの人工砂浜
の海水浴場、芦北の海の風物詩とな
っている観光うたせ船、そして、湯
浦・吉尾・鶴木山などの温泉と、豊
富な観光資源に恵まれた芦北町には
毎年多くの観光客が訪れています。
とところが、最
近さらに素晴ら
しい観光資源の存
在が確認されようとしています。芦
北町の内陸部の温泉町吉尾を流れる
吉尾川の上流銅山地区から白岩地区
へいたる八キロの石灰岩層の中
に、大きな鐘乳洞があるのでは
ないかと考えられているからです。
もし、これが事実とすれば、洞の長
さが八キロを超える日本一
の鐘乳洞ということになり
ます。
町ではさつそく調査に着
手し、将来の観光資源とし
て開発することを真剣に検
討しています。これが加わ
れば芦北町は、さらに魅力
ある観光地として注目され
そうです。